

保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 履修系統図

※ 選択科目

学部共通科目

学科共通科目

2024年度生以降

<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 <ul style="list-style-type: none"> 現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 <ul style="list-style-type: none"> 専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力 	<p>保健医療学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 保健医療学部では、人間の総合的な理解と心身相関の理解を基に、保健医療に関する職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力の能力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「義肢装具」を必要とする対象者 (人間) について、心理的・身体・環境・社会的側面から多面的・総合的に理解できる知識を修得していること 「義肢装具」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、医療・福祉・介護・研究などの分野において汎用できること 義肢装具士として、人間の尊厳を守り高い倫理観に基づいて、多職種間の連携・協働に貢献できること 義肢装具士として、義肢装具の質の向上へ向けグローバルな視点を持つと共に、社会の変化と進展に伴う多様な健康課題に対応するため、生涯にわたり自ら学び続ける素養と意志を持っていること
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に活用できる能力を得る 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>保健医療学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 保健医療学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する</p> <ol style="list-style-type: none"> 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に活用できる能力を得る 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 義肢装具を必要とする対象者 (人間) について、多面的・総合的に理解するための基礎科目を設ける 科学的根拠に基づいた知識および高い倫理観を持った義肢装具士の育成に必要な専門基礎、専門科目を設ける 義肢装具士として必要とされるコミュニケーション能力を身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける



保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 履修系統図

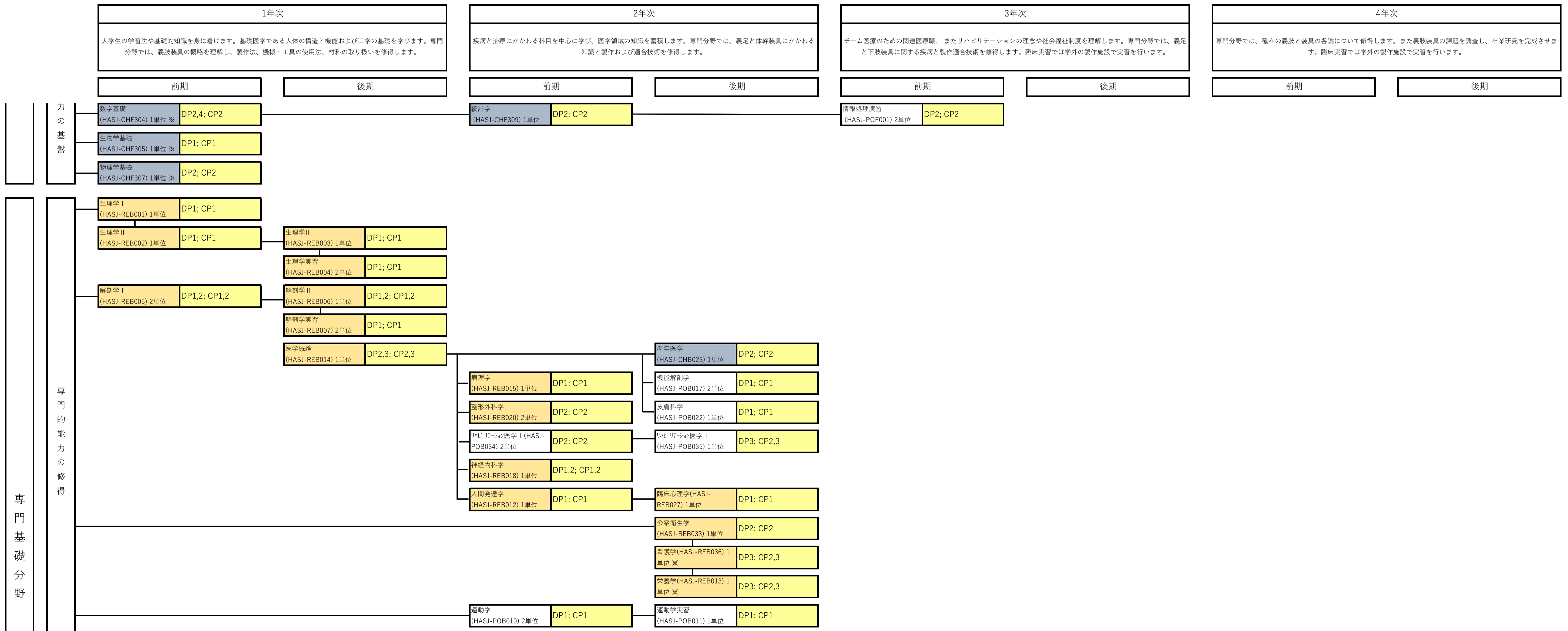
※ 選択科目

学部共通科目

学科共通科目

2024年度生以降

<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質 2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 <ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力 	<p>保健医療学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 保健医療学部では、人間の総合的な理解と心身相関の理解を基に、保健医療に関する職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力の能力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「義肢装具」を必要とする対象者 (人間) について、心理的・身体・環境・社会的側面から多面的・総合的に理解できる知識を修得していること 2. 「義肢装具」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、医療・福祉・介護・研究などの分野において汎用できること 3. 義肢装具士として、人間の尊厳を守り高い倫理観に基づいて、多職種間の連携・協働に貢献できること 4. 義肢装具士として、義肢装具の質の向上へ向けグローバルな視点を持つと共に、社会の変化と進展に伴う多様な健康課題に対応するため、生涯にわたり自ら学び続ける素養と意志を持っていること
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>保健医療学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 保健医療学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 義肢装具を必要とする対象者 (人間) について、多面的・総合的に理解するための基礎科目を設ける 2. 科学的根拠に基づいた知識および高い倫理観を持った義肢装具士の育成に必要な専門基礎、専門科目を設ける 3. 義肢装具士として必要とされるコミュニケーション能力を身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける



保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 履修系統図

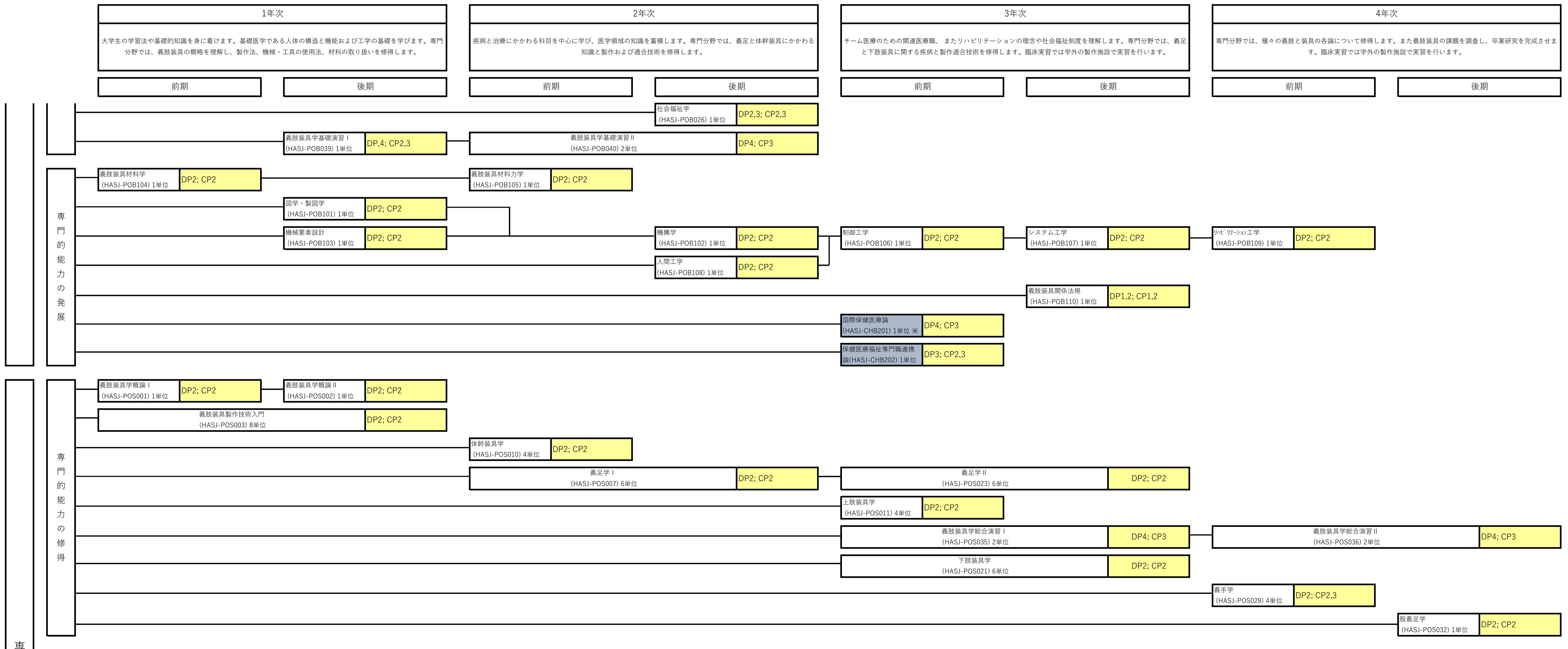
※ 選択科目

学部共通科目

学科共通科目

2024年度生以降

<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 全学共通のコア科目を通したリベラル・アーツ教育 <ul style="list-style-type: none"> 現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 <ul style="list-style-type: none"> 専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス（リテラシーレベル）の基礎力 	<p>保健医療学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 保健医療学部では、人間の総合的な理解と心身相関の理解を基に、保健医療に関する職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力の能力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「義肢装具」を必要とする対象者（人間）について、心理的・身体・環境・社会的側面から多面的・総合的に理解できる知識を修得していること 「義肢装具」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、医療・福祉・介護・研究などの分野において汎用できること 義肢装具士として、人間の尊厳を守り高い倫理観に基づいて、多職種間の連携・協働に貢献できること 義肢装具士として、義肢装具の質の向上へ向けグローバルな視点を持つと共に、社会の変化と進展に伴う多様な健康課題に対応するため、生涯にわたり自ら学び続ける素養と意志を持っていること
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力（リテラシーレベル）を得る 	<p>保健医療学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 保健医療学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する</p> <ol style="list-style-type: none"> 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力（リテラシーレベル）を得る 	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 義肢装具を必要とする対象者（人間）について、多面的・総合的に理解するための基礎科目を設ける 科学的根拠に基づいた知識および高い倫理観を持った義肢装具士の育成に必要な専門基礎、専門科目を設ける 義肢装具士として必要とされるコミュニケーション能力を身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける



保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 履修系統図

※ 選択科目

学部共通科目

学科共通科目

2024年度生以降

<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・ 社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質 2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・ 社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力 	<p>保健医療学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 保健医療学部では、人間の総合的な理解と心身相関の理解を基に、保健医療に関する職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力の能力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「義肢装具」を必要とする対象者 (人間) について、心理的・身体・環境・社会的側面から多面的・総合的に理解できる知識を修得していること 2. 「義肢装具」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、医療・福祉・介護・研究などの分野において汎用できること 3. 義肢装具士として、人間の尊厳を守り高い倫理観に基づいて、多職種間の連携・協働に貢献できること 4. 義肢装具士として、義肢装具の質の向上へ向けグローバルな視点を持つと共に、社会の変化と進展に伴う多様な健康課題に対応するため、生涯にわたり自ら学び続ける素養と意志を持っていること
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>保健医療学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 保健医療学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 義肢装具を必要とする対象者 (人間) について、多面的・総合的に理解するための基礎科目を設ける 2. 科学的根拠に基づいた知識および高い倫理観を持った義肢装具士の育成に必要な専門基礎、専門科目を設ける 3. 義肢装具士として必要とされるコミュニケーション能力を身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける

